

孝子越 貴志、莊中村より葛城を越て、和泉國日根郡中孝子深日村に至る、路程二里、山路平坦な

り、此道舊は笠木越、又笠道ともいふ、古和泉國へ踰る本道なり、聖武稱徳二帝、此道を踰給ひ、其

後關白頼通公大納言公任卿も、和歌浦遊覽に此道を踰らる、事は貴志莊中村の條に見ゆ、府下

泉州へ越る道あり、上孝子越といふ路程近し、

淡路街道或いふ根 海部郡木本村より東行して、貴志莊園部村に至りて一里半、夫より山口莊

谷村に至りて一里三十町、夫より那賀郡山崎莊に至り、根來粉河に通ず、是古の南海道の官道

にして、大和より伊都郡萩原驛に至り、郡中名草驛を経て、海部郡加太驛に至れるなり、今淡島

街道といふは、其神佛に詣するを以てなり、

熊野古道 和泉國日根郡山中村より山口莊雄山を越て南行し、大野莊藤白村に至りて、今の熊

野街道と合ふ、土俗此道を小栗街道といふ、

○按ズルニ、本書他郡ニモ高野街道、熊野街道、伊勢街道、龍神街道、桃崎道、大木越等ヲ載セタレ

ド、今省略ニ從フ、

〔延喜式二十八〕諸國驛傳馬○中

紀伊國驛馬荻原、賀太

〔續日本紀文武〕大寶二年正月戊寅、始置紀伊國賀陀驛家、

〔日本後紀二十一〕弘仁二年八月丁丑、廢紀伊國萩原、名草、賀太三驛、以不要也、

〔日本後紀二十二〕弘仁三年四月丁未、廢紀伊國名草驛、更置萩原驛、

〔平治物語〕從六波羅紀州、被立早馬事、

去程二十日ノ曉、六波羅ヨリ立シ早馬、切目ノ宿ニテ追付タリ、

〔太平記 二十二〕義助豫州下向事、

宿驛